

215024 伊勢、高知ほかの状況について

(5月21日の2度目の臨時メールのその後の状況)



先週末、5月21日(金)に<関西に大地震の可能性>という2度目の臨時メールを配信しましたが、3日経った本日5月24日(月)の午前の段階では発震はありません。

5月21日(金)以降の各地のデータの推移を見ましたが、今回の予想のベースになっている主要な大きな(長期)データである伊勢E481、伊勢D484、神戸市灘区、高知市介良、愛媛県松前などのデータは5月21~23日の間で小さいながら反発リバウンドをしています。いずれのデータも長期につづいた大きなデータからみて小さい反発リバウンドですが、このため発震が遅れていると考えられます。

しかし各地のこのリバウンドはだいたい明日までには再度収束してくる可能性が高く、また明日には低気圧が関西地方を通過すること、さらに明後日5月26日は新月で皆既月食になり、大地震が発生しやすい新月トリガーに期間にかかってきます。

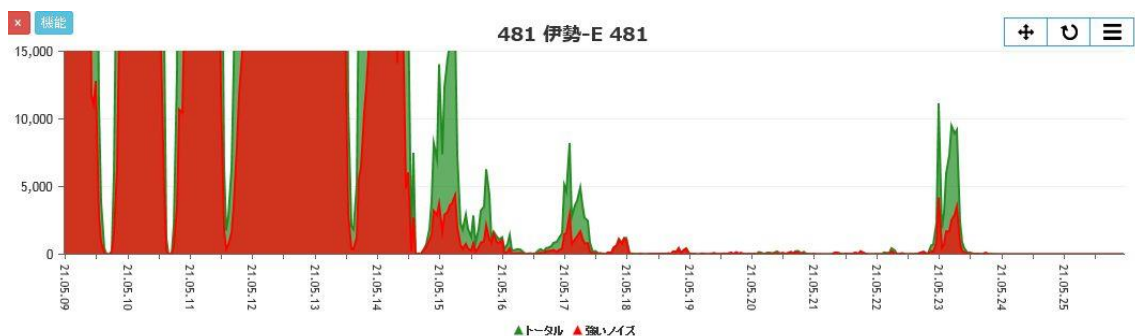
したがって、明日以降が一番危険な時期に入ってくると思われま

今回、<関西に大地震の可能性>という臨時メールを5月17日(月)と5月21日(金)の2度も配信しておいて、まだ大地震が来ていないから、ゆれくるんの地震予知はあてにならない、と思われた方もいらっしゃるかもしれません。しかしM4, M5などの小、中規模の地震はデータがピークを迎えてから減衰してきて収束し、発震するまでが比較的スムーズに行く場合が多いのですが、大地震の場合はそうはいかない場合が多いです。大地震の前兆のデータは数か月から場合によっては数年に及び、ピークを迎えてから長い期間をかけて減衰してきて、そこから収束するまで、なんどカリバウンドを繰り返して、最後に発震するような場合が多く、今回もこの例にあたると思われま

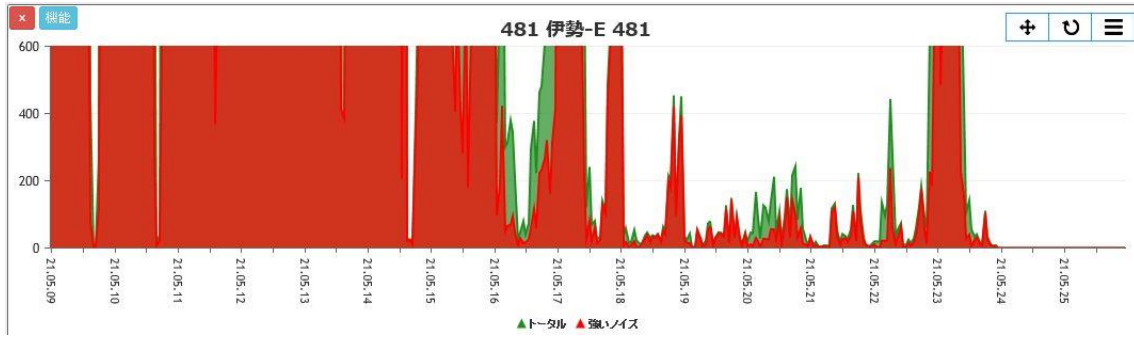
以下に、本日の各地の15日間のデータを載せますので参考にしてください。

各地の15日間のデータ

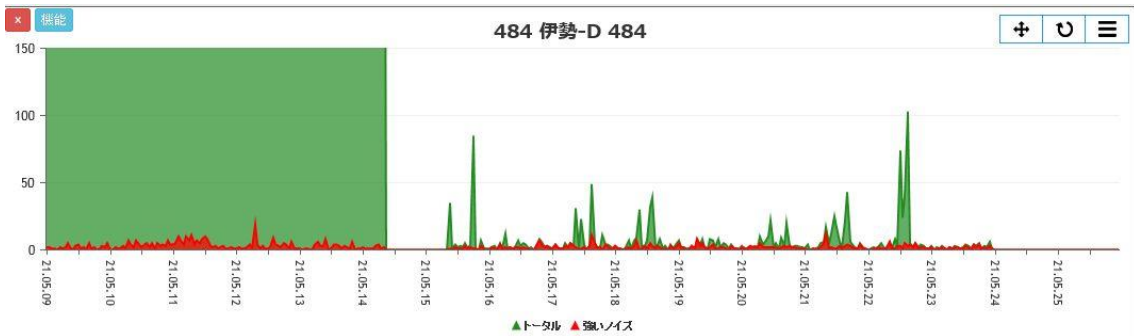
伊勢E481 15日間データ (拡大01)



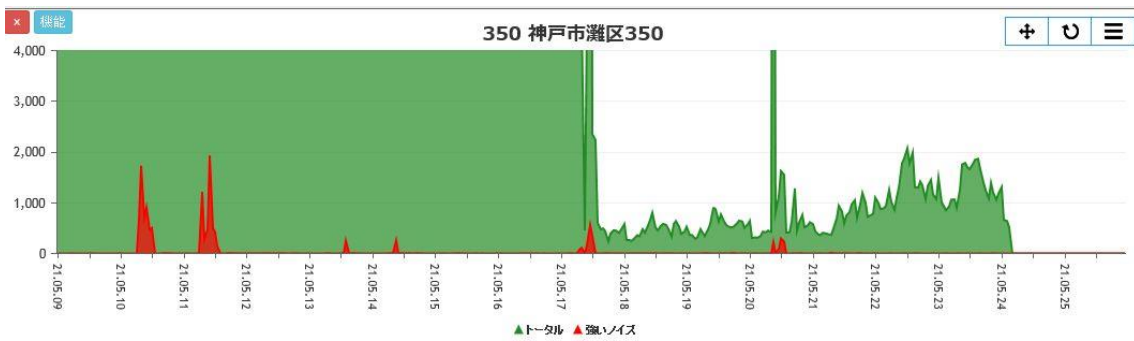
伊勢E481 15日間データ (拡大02)



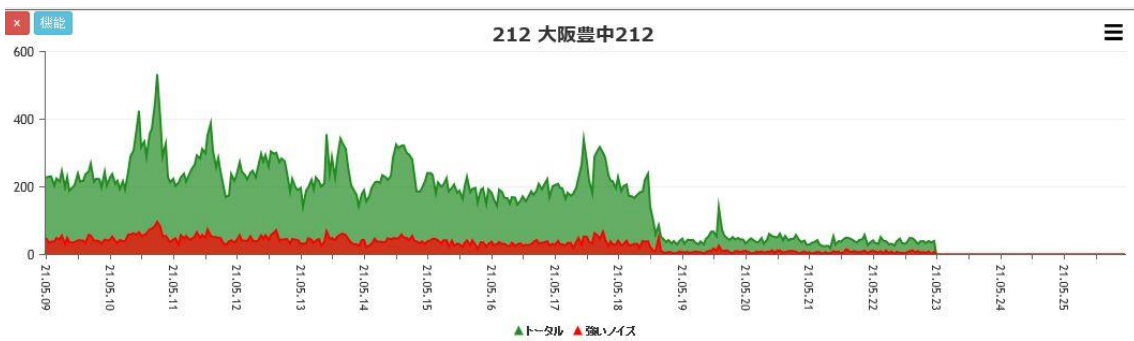
伊勢D484 15日間データ (拡大)



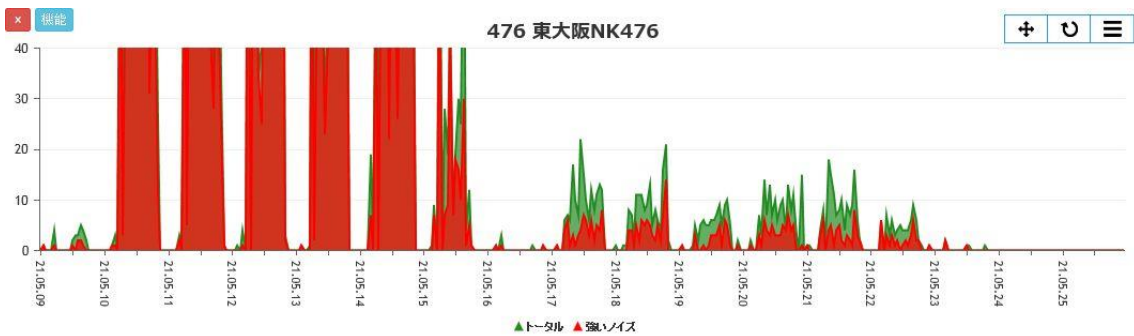
神戸市灘区 15日間データ (拡大)



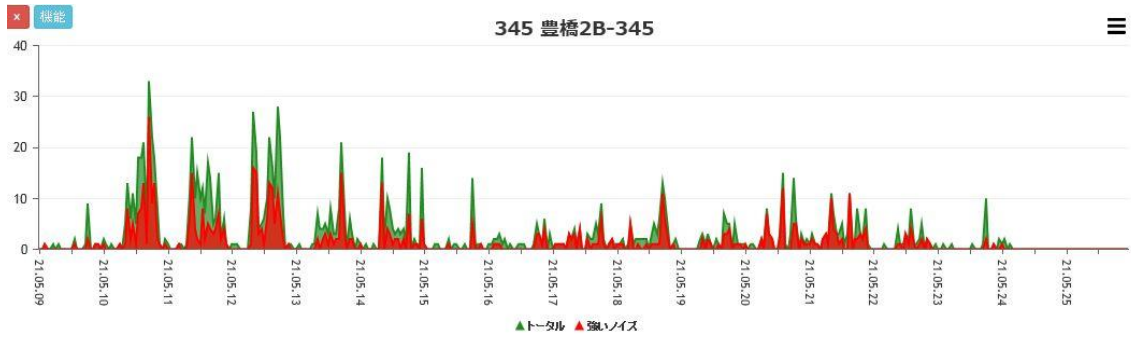
大阪豊中 212 15日間データ (拡大)



東大阪 15日間データ (拡大)



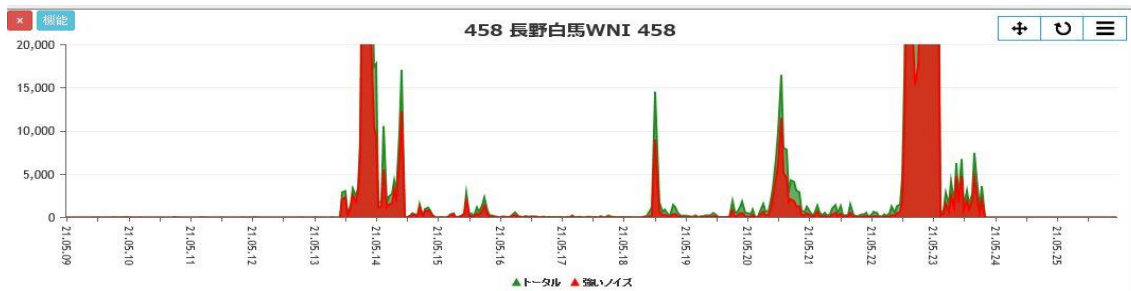
豊橋 345 15日間データ (拡大)



浜北 355 15日間データ (拡大)



長野県白馬 15日間データ (拡大)



高知市介良 15日間データ (拡大)



愛媛県松前 15日間データ (拡大)

